【第３学年　算数における食に関する指導】指導案

交野市立交野小学校

授業者 T１　学級担任

T２　指導栄養教諭

1. 題材名　大きい数でお米をイメージしよう。
2. 題材の目標

　身近なお米から大きな数のイメージを持ち、算数で学んだことの楽しさを感じる。

３．食育の視点

　　　お米は、１つぶは、とても小さいが日常に欠かせない大切な食べ物なので、１つぶも、

無駄にしないように食べようとする（食事の重要性・感謝の心）

４．指導内容　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　T1●　T2〇

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 指導上の留意点 | 教材・資料 |
| 導入 | ３年生の人数をもとに、大きな数をイメージする | ●人数を発表させ、３年生の人口をもとに大きな数をイメージさせる。３年１組　３０人交野小学校３年生　９１人交野市の小学校３年生　６９５人大阪府の小学校３年生　７２５０７人全国の小学校３年生　１０８１２３８人 | カード |
| 展開 | 米の学習であることを知る。米を観察する。大きさ　重さ　色　形お米１つぶの小ささを実感するお米は、稲のたねであることを知る絵本を見て、お米の粒の数と量の感覚を想像する | 大きい数をお米でイメージしよう　〇米の学習であることを伝える。〇米１つぶに注目させる。〇既習したことを活用するなど、米１つぶに注目さ、とても小さいものであることを気づかせる。〇お米はひと粒ひと粒が次の稲を実らせる種子であることを伝える。〇絵本の読み聞かせをしながら、お米の数と量を想像させる。1日目→１つぶ、２日目→２つぶ、３日目→４つぶ、１３日目→４０９６つぶ（茶わん山盛り１杯）２１日目→１０４８５７６つぶ（米袋1袋に２１ｋｇくらい）３０日目→５３６８７０９１２つぶ | ワークシート米一人１つぶＩＣＴテレビ稲穂ＩＣＴテレビ「１つぶのおこめ」（絵本）茶碗１杯のごはん２１kgの米 |
| まとめ | 米１つぶでも大切にしようとする意識を持つ | 〇１つぶはとても小さくても、集まればみんなが幸せになる食べ物であり、大切にしようとする意識を持たせる。 | ワークシート |